

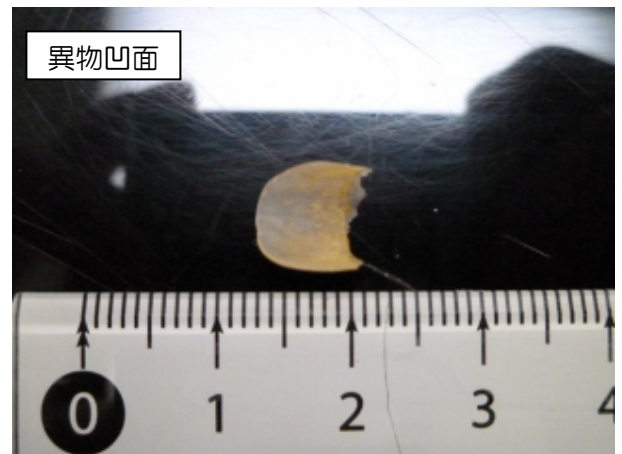
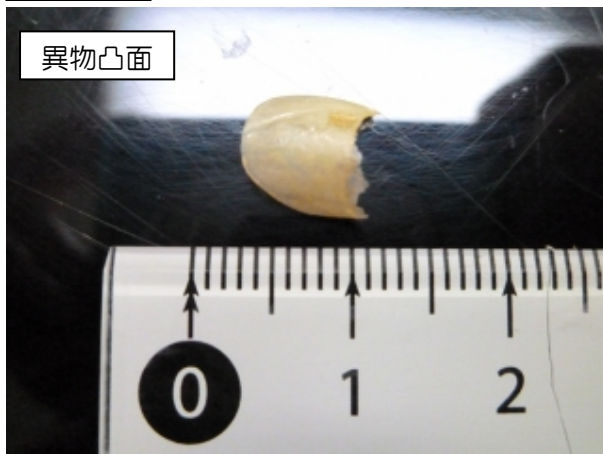
事例38：弁当内の異物

品 名：市販の弁当

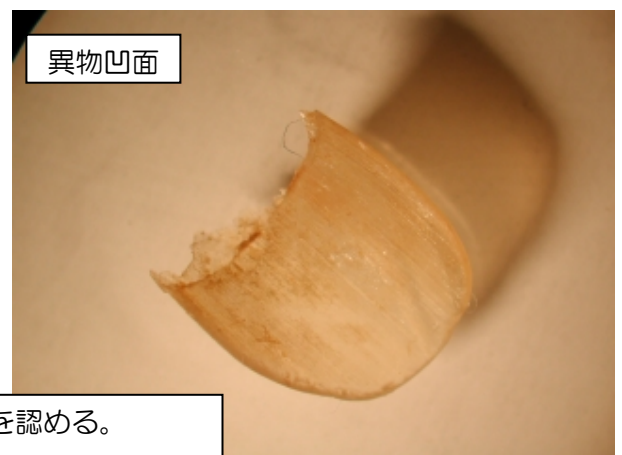
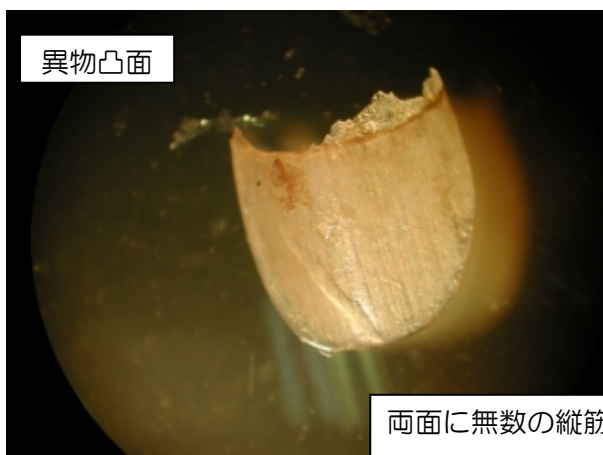
苦情概要：購入した弁当（牛肉とこんにゃくの煮物）内に爪のような異物が入っていた。

検査方法：①異物を実体顕微鏡下で観察，②異物と対照の人爪，プラスチック片を強アルカリ（水酸化ナトリウム水溶液）中に入れ，変化を観察，③組織切片（HE染色）を光学顕微鏡下で観察。

肉眼像

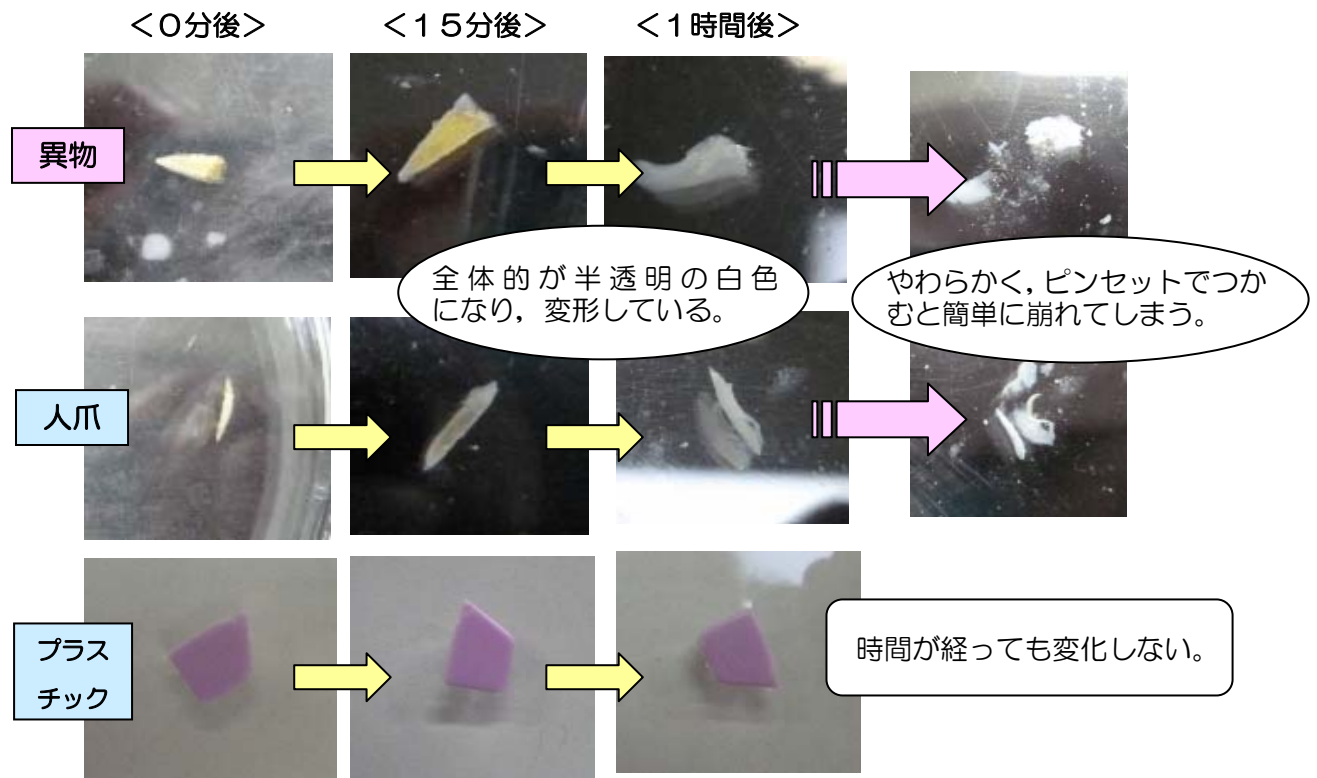


実体顕微鏡像

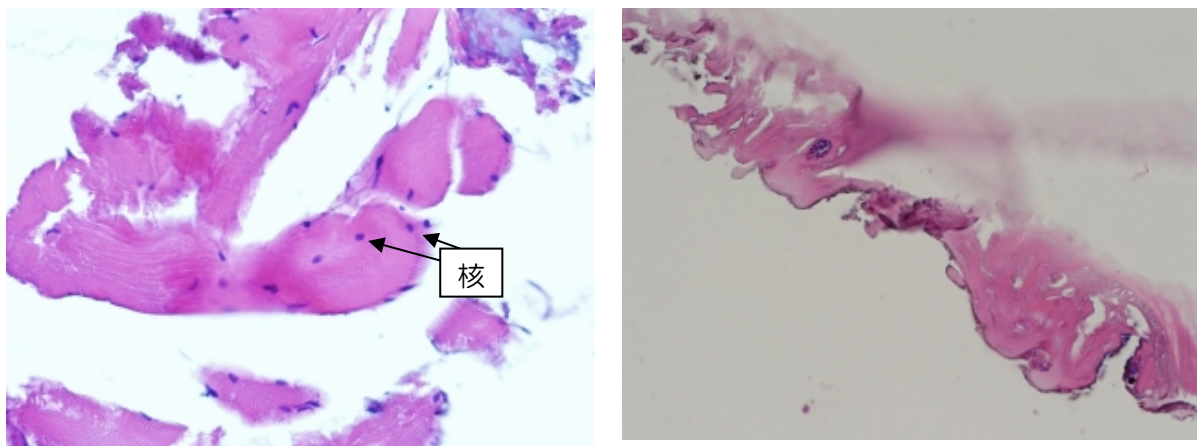


両面に無数の縦筋を認める。
部分的に褐色色素が沈着している。

強アルカリ（水酸化ナトリウム）による溶解



光学顕微鏡像



ケラチン蛋白に似た構造を認める。一部に細胞の核が残っている部分を認める。

検査結果

異物→人爪

異物は人爪によく似た構造・性質をもっていることから，プラスチック製のネイルチップ（つけ爪）でなく，人爪であると考えられます。

また，醤油等調味料により着色されている可能性も考えられます。

参考；表皮の組織

